

祇園小学校 校長だより（第20号）

平成30年9月3日

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

栄養と睡眠

熱中症計を首から提げて、客観的に気温・湿度・WBGT（気温・湿度・輻射熱を計測して算出されるもの）を把握するようにしています。熱中症計には黒球が付いており、日射、照り返しなどの輻射熱（ふくしゃねつ）も計測できるようになっています。室内・室外の切り替えもでき、教室や体育館、運動場などその場に応じた計測を行うようにしています。

登校日に比べると、気温・湿度・WBGTも低くなりましたが、本日正午現在の運動場の日なたの気温が35℃以上であったため、昼休みの外遊びは禁止しました。夏休みでクーラーのある部屋で過ごしていた児童がほとんどだと思いますので、少しずつ暑さにも慣れさせたいと考えています。

気温等の変化はありますが、何より栄養や睡眠を十分に採り、からだを丈夫にしておくことが大切だと考えます。お医者さんの話などを参考に、食事から塩分を摂取することにより、社会体育や部活などのひどく汗をかいた場合を除き、通常の学校生活であればスポーツドリンク等による塩分の補給をするまでもないと考えています。「適切な睡眠と食事」を今後もよろしくお願いいたします。

水筒と帽子

汗をかく量は減ったかもしれませんが、水分の補給には努めさせたいと考えています。水筒の持参を引き続きお願いいたします。また、登下校や外遊び、校外での活動など日なたで過ごすこともあります。帽子をかぶって登校させるようお願いいたします。

祇園歴史の旅（その20）「上京町・下京町・京坪町の由来」

坂田直士著「佐世保の地名は語る」（平成17年出版）によると、「上京・下京の町名は小字『京ノ坪』を中心にして、上京と下京に分けたものである。京ノ坪とは経田（きょうでん）のことで、お寺の檀家の人が読経料として、寺へ寄進した水田のことをいった。「経」に「京」の佳字を当てたもので、「坪」とはこの場合、水田を意味する。」と記載されています。

京坪とお寺との関係性や昔は水田だったことがわかります。上京町・下京町・京坪町は隣接していますが、京坪を中心に上と下（下が海側でしょうか？）で分けたことがわかりました。